

令和5年第7回狭山市定例教育委員会会議議事録

開催日時 令和5年7月26日(水)
午後3時30分から午後4時14分まで

開催場所 市役所 5階 教育委員会室

出席者 教 育 長 滝 嶋 正 司
教育長職務代理者 古 谷 広 明
委 員 橋 本 秀 樹
委 員 宮 崎 英 子
委 員 安河内 由 香

欠 席 者 なし

委員及び傍聴人を除くほか、議場に出席した者の氏名

生涯学習部長	内 藤 光 重	次長兼教育総務課長	關 根 浩 由
社会教育課長	石 井 巳代子	スポーツ振興課主幹	伊 吹 直 美
学校教育部長	田 中 義 久	次長兼教育指導課長	宇佐見 昌 義
書 記	神 田 崇 広		

会議の公開・非公開 公開

傍 聴 者 数 0名

報告事項

- ・各種審議会等の会議結果概要について

報告者 (社会教育課長)
(スポーツ振興課長)

(要旨)

令和5年度第1回狭山市スポーツ推進審議会、令和5年度第1回狭山市立博物館協議会の開催結果について、その概要の報告がなされた。

委員からの質疑等では、スポーツ推進審議会での審議に関わり、部活動の地域移行に伴う指導者の体制はどの程度の範囲を考えているのかとの質疑に、現在検討を進めている状況であり具体的にはまだ決まっておらず、クラブチームやスポーツ協会に加盟している団体などに声掛けすることを考えている旨の答弁がなされた。博物館協議会での審議に関わり、現在、博物館で開催されている企画展に行ったが、平日のためか来場者が少なかった。集客を見込んだ取り組みはとの質疑に、昨年度から、サテライト展示ということで、市内公民館や

児童館などの人の集まる施設に企画展のパネルや展示品を数点展示するなどして、企画展への来場を促している。現在開催中の企画展については、市民交流センターやこども動物園、児童館において、サテライト展示を行っている。昨日までの入場者数は約 5,200 人であり、昨年を超える入場者数を見込んでいる旨の報告がなされた。

- ・狭山市教育委員会後援名義の使用行事について

報告者（社会教育課長）
（スポーツ振興課主幹）

（要旨）

社会教育課関係 5 件、教育指導課関係 1 件の後援名義使用承認の申し出があり、審査の結果、使用を承認した旨の報告がなされた。

委員からは、「狭山ぼうけん遊び場 ほんきっこ 2023 夏」について、暑い中、子供たちの健康への配慮、救急体制なども確認してほしい旨の要望がなされた。

議 案

議案第 44 号 令和 6 年度使用小学校用教科用図書の採択について

令和 6 年度から使用する小学校の教科用図書について、第 13 採択地区教科用図書採択協議会の選定結果に基づき採択したく、提案がなされたものである。

まず、説明として、教科用図書採択の方法は、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第 10 条から第 17 条によって定められており、共同採択地区内の教育委員会は、採択協議会の協議の結果に基づいて、種目ごとに 1 種の教科用図書を採択しなければならないことになっている。

本市は、飯能市、入間市、日高市と第 13 採択地区の採択協議会を設置し、採択を行うこととされていることから、採択協議会での協議結果に基づき、採択しようとするものである。

なお、これに関して委員には、普段より学校指導訪問等で学校現場がどのように教科用図書を活用しているか等を確認していただいているところであり、また、今回の採択に際しては、県教育委員会から出されている「令和 6 年度使用小学校用教科用図書調査資料」及び、第 13 採択地区教科用図書採択協議会専門員が作成した「令和 6 年度使用小学校用教科用図書調査研究報告」とともに、事前に見本本を閲覧していただいたところである。

令和 5 年 7 月 18 日、7 月 19 日に第 13 採択地区の採択協議会が開催され、これには 4 市の教育長及び教育長職務代理者が出席し、協議を行ったところであり、その協議結果に基づき、本市教育委員会として、令和 6 年度から使用する小学校の教科用図書について、別紙のとおり、採択したく提案するものである旨の説明がなされた。

続いて、7 月 18 日、7 月 19 日に行われた採択協議会での協議内容と結果について、

以下のとおり報告がなされた。

今回の教科用図書の採択にあたっては、各委員に全ての教科用図書の見本本を、7月5日に内容を閲覧いただくとともに、担当指導主事より発行者ごとの主な特徴等について説明を受け、意見交換を行い、それを踏まえて第13採択地区教科用図書採択協議会に臨んだものである。

採択協議会では、教科ごとに、教科用図書の調査研究を行うために委嘱された第13採択地区の代表専門員から調査研究の結果の報告を受け、それについて質疑を行い、協議会規約で規定されている方法により、採択すべき教科用図書を選定することとした。

国語については、3者の教科用図書について、代表専門員からは、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して正確に理解し、適切に表現する資質・能力を育成するための工夫等の観点から調査研究の結果報告があった。その後、この報告について質疑を行い、そして、委員による協議に移り、選定に関する意見がなかったことから、投票により選定することとし、投票の結果、時代を超えて親しまれてきた教材とSDGsなどの今日的な課題に関する教材が配置され、各単元において学ぶ意欲を喚起する「問い」から主たる学習につながる構成の工夫をされている光村図書出版の「国語」が選ばれた。

書写については、3者の教科用図書について、代表専門員からは、書写の基礎的・基本的な知識・技能を習得させるための工夫等の観点から調査研究の結果報告があった。その後、この報告について質疑を行い、そして、委員による協議に移り、選定に関する意見がなかったことから、投票により選定することとし、投票の結果、「めあて」が明確に示され、「考えよう」で、めあてを達成するために必要な着眼点を示し、「ふりかえろう」で、確認すべき観点が明示され、学習を振り返る工夫がされている教育出版の「小学 書写」が選ばれた。

社会については、3者の教科用図書について、代表専門員からは、主体的に問題解決を行う学習過程の工夫、重要語句の定着のための工夫等の観点から調査研究の結果報告があった。その後、この報告について質疑を行い、そして、委員による協議に移り、選定に関する意見がなかったことから、投票により選定することとし、投票の結果、各単元が学習問題を「つかむ」、資料やICT機器等を活用して「調べる」、重要語句を整理して「まとめる」、そして「いかす」という流れになっていて、多様な資料、二次元コンテンツにより、主体的・対話的の学びにつながる工夫をしている東京書籍の「新編 新しい社会」が選ばれた。

地図については、2者の教科用図書について、代表専門員からは、地図帳を自由自在に活用できる知識や技能を身に付ける工夫等の観点から調査研究の結果報告があった。その後、この報告について質疑を行い、そして、委員による協議に移り、選定に関する意見がなかったことから、投票により選定することとし、投票の結果、巻頭で地図活用の技能についての解説があり、歴史の学習や他教科で通用できる資料図が掲載されている帝国書院の「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」が選ばれた。

算数については、6者の教科用図書について、代表専門員からは、既習事項を基にした問題解決の過程の工夫等の観点から調査研究の結果報告があった。その後、この報告について質疑を行い、そして、委員による協議に移り、選定に関する意見が

なかったことから、投票により選定することとし、投票の結果、学習意欲を高めたり、理解を深めたりするために、単元の導入、問題の解決、理解の状況把握、つまりきへの対策などに活用できる二次元コンテンツが豊富に用意されるなど、ICTを積極的に活用した構成となっている東京書籍の「新編 新しい算数」が選ばれた。

理科については、見本本の送付がなかった一般社団法人信州教育会出版社の教科書について、専門員による調査・研究が行われておらず、それ以外の5者の教科用図書について、代表専門員からは、各者の特色や安全面、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける工夫等の観点から調査研究の結果報告があった。その後、この報告について質疑を行い、そして、委員による協議に移り、選定に関する意見がなかったことから、投票により選定することとし、投票の結果、児童が見通しを持ち、主体的に学びを進めることができる、3段階の学びのサイクルによる紙面構成で、二次元コードから補充問題、スマート解説を読み取ることができるなど、個別最適な学びができる場も設定されている新興出版社啓林館の「わくわく理科」が選ばれた。

生活については、見本本の送付がなかった一般社団法人信州教育会出版社の教科書について、専門員による調査・研究が行われておらず、それ以外の6者の教科用図書について、代表専門員からは、生活上必要な習慣や技能が身に付く工夫等の観点から、調査研究の結果報告があった。その後、この報告について質疑を行い、そして、委員による協議に移り、選定に関する意見がなかったことから、投票により選定することとし、投票の結果、具体的な作品やワークシートの例示を単元ごとに定位置に掲載し、活動のめあてとその活動で育成すべき資質・能力を示したマークを組み合わせることで、指導と評価の一本化が図れるよう工夫されている東京書籍の「新編 新しい生活」が選ばれた。

音楽については、2者の教科用図書について、代表専門員からは、音楽の見方・考え方に結び付く主体的・対話的で深い学びについての工夫等の観点から、調査研究の結果報告があった。その後、この報告について質疑を行い、そして、委員による協議に移り、選定に関する意見がなかったことから、投票により選定することとし、投票の結果、系統性及び発展性をもって組織された題材を軸に、表現と鑑賞の教材が関連、対照、対比されながら組み合わせられ、二次元コードを読み取って音源や資料を活用することで、個別最適な学びをサポートできるように工夫されている教育芸術社の「小学生の音楽」が選ばれた。

図画工作については、2者の教科用図書について、代表専門員からは、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力、人間性」、「鑑賞」のそれぞれの観点における工夫について調査研究の結果報告があった。その後、この報告について質疑を行い、そして、委員による協議に移り、選定に関する意見がなかったことから、投票により選定することとし、投票の結果、感性に訴えかけるような題材が多くあり、造形的な活動も多く、様々な経験的学習活動が期待できる開隆堂出版の「図画工作」が選ばれた。

家庭については、2者の教科用図書について、家族や家庭、衣食住、消費や環境などに関する内容や資料、表記・表現についての工夫等の観点から、調査研究の結果報告があった。その後、この報告について質疑を行い、そして、委員による協議に

移り、選定に関する意見がなかったことから、投票により選定することとし、投票の結果、学びの三つの段階が示され、見通しを持って学習できるよう工夫され、振り返りのできるチェック欄で児童が自分自身の知識・技能について明確に学習を振り返ることができる工夫がなされている開隆堂出版の「わたしたちの家庭科」が選ばれた。

保健については、6者の教科用図書について、代表専門員からは、身近な生活における健康・安全について理解し、保健に関わる基本的な技能を身に付ける工夫等の観点から調査研究の結果報告があった。その後、この報告について質疑を行い、そして、委員による協議に移り、選定に関する意見がなかったことから、投票により選定することとし、投票の結果、学習課題を明確にし、振り返りを充実させることで学びへの意欲を喚起する構成で、写真、イラスト、デジタルコンテンツが充実しており、視覚的に健康・安全についての理解を深められるようになっている東京書籍の「新編 新しい保健」が選ばれた。

英語については、6者の教科用図書について、代表専門員からは、単元構成、読むこと、書くこと、聞くことに慣れ親しむための工夫等の観点から調査研究の結果報告があった。その後、この報告について質疑を行い、そして、委員による協議に移り、選定に関する意見がなかったことから、投票により選定することとし、投票の結果、児童に寄り添ったスモールステップの単元構成、歌やチャンツ、アルファベットの文字と音を知る活動が毎時間配置されていて、マークで指導の重要度が区別できる工夫がされている東京書籍の「NEW HORIZON Elementary English Course」が選ばれた。

道徳については、6者の教科用図書について、代表専門員からは、考え議論する授業に向けての多種多様な教材、児童の心の成長を導く工夫等の観点から調査研究の結果報告があった。その後、この報告について質疑を行い、そして、委員による協議に移り、選定に関する意見がなかったことから、投票により選定することとし、投票の結果、定番教材やビジュアル教材、現代的な課題に目を向けさせる教材など、バランスよく構成配置されていて、児童の興味・関心を高め、自主的に学習に取り組める工夫がされている東京書籍の「新編 新しい道徳」が選ばれた旨の報告がなされた。

また、教育長より補足として、「社会」について特に意見がなかった旨の報告があったが、ある委員からは、教科書について1冊と2冊に分冊されているところがあり、1冊にまとめられている方が継続した振り返りができる。2冊より1冊の方がよいのではとの意見があった。また、掲載されている写真についても、古い白黒の写真を合成して着色している点も評価されるべきではとの意見があった旨の報告がなされた。

委員からの質疑等では、教科書の採択に当たり、教員の声はどのように把握しているのかとの質疑に、各小学校の教員は、教科書展示会等に参加し教科書の研究を行っている。その研究結果は、採択協議会事務局で集計し、採択協議会でも参考資料として結果を提示したため、教員の意見は把握できたものと考えている旨の答弁がなされた。

社会科の教科書について、分冊のものとそうでないものがあったとのことだが、それについて、採択協議会で何か質問があったかとの質疑に、1冊のものと分冊のものとの、子供たちの学習への影響についての質問があったが、代表専門員からは、1冊

にまとめられているものは、児童が振り返りがしやすく、分冊の方は、情報量が精査されていて、児童がまとめを行いやすいという、それぞれの利点があげられていた旨の答弁がなされた。

各教科について、具体的な投票結果はとの質疑に、当日1名欠席のため、7名での投票を行い、国語は、光村図書出版に7票、書写は、教育出版に7票、社会は、東京書籍に5票、教育出版に2票、地図は、帝国書院に7票、算数は、東京書籍に7票、理科は、新興出版社啓林館に7票、生活は、東京書籍に7票、音楽は、教育芸術社に7票、図画工作は、開隆堂出版に7票、家庭は、開隆堂出版に7票、保健は、東京書籍に7票、英語は、東京書籍に7票、道徳は、東京書籍に7票であった旨の答弁がなされた。

家庭での学習も考慮し、保護者や地域の方からの意見はどのように把握しているのかとの質疑に、教科書展示会に来られた方の意見等はその場で聴取し、その結果を採択協議会の参考資料として提示されており、そういう形で把握している旨の答弁がなされた。

各者、SDGsについてどのように触れているか。また、「主体的・対話的で深い学び」について、各者どのように配慮しているのかとの質疑に、SDGsについては、各者意識した記載があった。教科書の特性に基づきそれぞれの視点で、児童が自分事として考える記載の工夫があった。また、「主体的・対話的で深い学び」については、各者とも主体的・対話的で深い学びができるような学習過程を設定しており、児童が自ら課題を発見したり、問題解決的な学習を取り入れ、児童同士で話し合ったりする活動を取り入れている旨の答弁がなされた。

現在の学習指導要領では、各教科を通じて言語活動の充実に重きを置いているが、その点について各者どう配慮しているか。また、小学校と中学校で発行者が異なる教科もあるが、この違いにおける懸念点はあるかとの質疑に、言語活動の充実については、各者とも十分に配慮しており、グループで話し合う、説明する、レポートを作成するなどの場面を設定し、自ら考え、判断し、表現する力を育成するよう工夫されている旨の答弁がなされた。また、小中学校で発行者が異なる場合の懸念について、代表専門員からは、その点も念頭に研究したが、どの発行者も同様に、中学校への接続を意識して作られており、特に問題がないとの報告であった旨の答弁がなされた。

前回の教科書採択の際、一部の教科書に二次元コードが増えデジタル化が進み、今回はどの教科書にもまんべんなく示されていたが、進んだことによる各者の違いはとの質疑に、各者二次元コードの数が増え、児童がタブレット端末を使用して資料や関連動画の視聴を手軽に行えるようになっている。また、各者、児童が家庭でも学習ができるように内容が工夫されているという報告があった旨の答弁がなされた。

教育長からは、採択協議会で説明を受け、どの教科書会社もほとんど差がなく、どの教科書を使ったとしても児童に不利益が生じるようなことはないということを確認できた旨の報告がなされた。

議案第44号については、原案可決した。

以 上